

生成パネルのセットアップおよび運用

改訂 20 - 2013 年 11 月 7 日

目次

1	概要	2
2	生成パネル	2
2.1	設立	2
2.2	構成および多様性	3
2.2.1	議長	4
2.2.2	メンバー	5
2.3	アドバイザー	5
2.3.1	アドバイザーへの依頼	5
2.4	作業計画	6
2.4.1	設立見込みの生成パネルの提案の一部としての作業計画	6
2.5	生成パネルのタスク	7
2.5.1	レポートリー	7
2.5.2	異体字	7
2.5.3	配置	8
2.5.4	全ラベル異体字評価ルール	8
2.6	提案された LGR の送付	8
2.6.1	提案された LGR を送付する前に	8
2.6.2	他の生成パネルとの協力	9
2.6.3	文字における主要言語のカバレッジ	9
2.6.4	データ フォーマット	9
2.6.5	決定	10
2.6.6	送付およびフォローアップ	10
2.7	ワークフローおよびタイムライン	11
3	パネル運営	12
3.1	タイムライン	12
3.2	ミーティングおよびロジスティックス	12
3.3	レポート	12
3.4	書記の職務	13
4	ツールおよびその他のサポート	13
4.1	ツール	13
4.2	その他のサポート	13
5	生成パネルの設立提案の概要	14

1 概要

「[IDNA ラベルに関するルートゾーンのラベル生成ルールの策定および管理手順](#)」(手順)では、ルートゾーンの IDN ラベル生成ルール (LGR) の策定について、以下のように 2 段階の手順が定義されています。「第 1 段階では、特定の文字、表記法、言語、またはそれら全てに固有のラベル生成ルールを策定することとし、このタスクは、インターネット ユーザーの一部のコミュニティで使用される文字、表記法または言語に深い経験と関心を持つ人々で構成されるルール生成パネルによって実行される。」

本文書では、生成パネルのタスクの概要、推奨される構成に関する情報、特定の文字について生成パネルを初めてセットアップおよび組織化する方法に関する注記などを提供します。

2 生成パネル

2.1 設立

ルートゾーンについて LGR の策定プロセスが開始されたとき、最も緊急に必要なものは、ccTLD ファストトラックおよび新しい gTLD プログラムの下で IDN TLD が要求される 17 の文字に関する生成パネルです。これらの文字は、「[ルートゾーンラベル生成ルール策定のための生成パネルの呼びかけ](#)」で定義されています。この呼びかけは、最初の 17 文字以外の文字に対する関心を排除しておらず、追加の生成パネルの設立が必要となります。

生成パネルの作業はコミュニティによって担われます。コミュニティで IDN および文字の変異形を専門とするワーキンググループがすでに設立されている場合、ICANN にとって望ましい手順とは、コミュニティと協力し、既存のワーキンググループに全面的または部分的に立脚して、当該文字についての生成パネルを設立することです。対応する生成パネル議長の任命は、ワーキンググループメンバーまたはコミュニティからの推薦に基づいて行うことができます。既存のワーキンググループを持つコミュニティでは、ワーキンググループ全体としての自己紹介を送付して「呼びかけ」に応答し、下記の概要に基づいて、設立見込みの生成パネルについてのより詳細な提案を添付またはフォローアップすることをお勧めします。

その他の文字について生成パネルを設立する必要性が手順に定められた基準に適合しており、このパネルを構成するために必要な自己紹介が受領されているものの、既存のワーキンググループが存在しない場合、ICANN では、生成パネルの議長を任命することにより、プロセスを開始することができます。ICANN は、任命した議長と協力して、作業に対する関心と適切な専門知識を有するとともに、コミュニティを代表する資格を有するボランティアを募集します。この段階では、ミーティングスペースや、電子メールリスト、電話会議ホスティングおよびその他のリソースの提供を通じて作業を推進するホスティング組織も有用です。

どのような場合でも、提案された生成パネルが手順に定められた要件を満たすかどうか、また、作業を進めて具体的なパネルを設立するかどうかの判断は、ICANN によって下されます。

既存のパネルあるいは生成パネルの議長またはメンバー候補者の自己紹介を送付する方法の詳細については、「呼びかけ」文書に記載されています。生成パネルの議長選任は、最もふさわしい資格を有する候補者を重視した、競争的選任となります。しかし、生成パネルのメンバーとしての参加は、オープンなプロセスです。「呼びかけ」で説明される適格性および多様性に関する一定の制限を満たすことを条件として、誰でも、ボランティアに志願して生成パネルのメンバーになることができます。既存の生成パネルまたは既存のワーキング グループを元に形成されつつあるパネルへのボランティアは、各グループに回送されます。パネルのサイズが管理不能な規模にならない限り、また、メンバーの多様性が十分に確保される限り、適格なボランティアはメンバーに加えられます。

生成パネルの設立後であっても、生成パネルのメンバーをいつでも追加または削除することができます。特に、利益の相反などの理由でメンバーが的確性を失った場合、ICANN では、該当するメンバーを削除することができます。

2.2 構成および多様性

生成パネルのメンバーはボランティアで構成されます。技術的および言語的専門知識を併せ持つとともに、特定の文字または文字群のドメイン名ユーザーの多様性を反映することが期待されます。手順では、生成パネルのメンバーの間に一定の多様性を持たせることを推奨しています。下記の正式な多様性要件に加えて、言語的専門知識およびコミュニティの代表性は、言語または地理的基準などに照らして、当該文字のユーザー コミュニティの相当部分をカバーするに足る水準に差異化する必要があります。

「生成パネルが有用であるためには、参加者に一定の多様性が必要です。十分な数の参加者がいなくてはならず、[および] 経済的利益の点で多様性がなければなりません... [しかし] これらのパネルの作業には技術的課題が伴い、言語的専門知識が必要となるため、自然な「代表」ではありません。

多様性と専門知識を兼ね備えた十分な数の参加者を集められない場合、問題となっているコード ポイントおよびそれらに関するルールがルートゾーンに含めるには専門化されすぎている証拠であり、生成パネルを設立すべきではありません。

要求される専門知識の多様性は、パネルによって考慮されるレパートリーの性質にある程度依存します。レパートリーやその他の複雑な要素が少ない特定の単純な文字の場合、最低限の 3 名のパネル サイズでも十分でしょう。多くの言語を包含する、あるいは技術的または言語的課題のあるレパートリーの場合、追加のパネル メンバーやアドバイザーが必要になるでしょう。」

下表に、生成パネルの一般的な推奨構成例を示します。

表 1: 推奨される生成パネル構成の概要

役職	ボランティア 推定人数	概要説明
生成パネル議長	1	ICANN および統合パネルに対する生成パネルの連絡先担当者、コーディネーターおよび正式な代表者
コミュニティ代表	2人以上	地域文化、習慣、慣行などを理解するメンバー
言語専門家	1～2人、使用範囲が多様な文字ではそれ以上	特定の言語/文字に関する言語的専門知識を有するメンバー、Unicodeについても一定の知識を有するのが理想的
レジストリ/ レジストラ専門家	1-2	レジストリ/レジストラの運営および特定の文字に関する標準に詳しい専門家
ポリシー専門家	1	ICANN のボトムアップ プロセスおよびローカル登録ポリシーに詳しい専門家
DNS/IDNA/Unicode 専門家	-	小規模なパネルの場合、他のメンバーの第二専門分野または外部アドバイザーでも可

2.2.1 議長

生成パネルのボランティアメンバー募集の呼びかけに返答して自己紹介の送付を受けた後、ICANN では、生成パネルの議長を任命します。議長の任期は 1 年で、再任も可能です。議長の再任回数に制限はありません。

議長のタスクは、生成パネルの作業を促進することです。議長は、ICANN および統合パネルに対する生成パネルの連絡先担当者、コーディネーターおよび正式な代表者として活動します。3.4 belowで説明されているとおり、議長はこれらのタスクの一部を委任することができます。

議長の責任には、生成パネルの作業において手順の条件が守られること、および作業が合理的な速度で進むことを確保することが含まれます。そのために、議長は、セクション 3.3 belowで説明されているとおり、定期的な進行状況レポートを発行します。

場合によっては、生成パネルの形成を促進するタスクが議長に割り当てられます。

2.2.2 メンバー

ICANN では、2013 年 7 月に、生成パネルのボランティア メンバーに関する無期限の呼びかけを発行しました。当初パネルの議長のみが任命された場合、ICANN では、議長と協力して、送付を受けた自己紹介に基づいてパネル メンバーを選任します。設立見込みのパネルの議長には、コミュニティ連絡先を使用してその他のボランティアを見つけることが推奨されます。

メンバーは、生成パネルの作業開始後に追加することもできます。手順に定められた最低限の多様性および利益相反要件が順守されていることを ICANN が確認できるようにするため、メンバーシップの変更については ICANN による承認が必要です。多様性および利益相反に関して、パネルのメンバーシップが定期的に確認されます。

手順に定められているとおり、ICANN では、追加のメンバーを任命することができます。

2.3 アドバイザー

パネル メンバーではカバーできない意見や専門知識を得るために、外部アドバイザーに助言を求めることができます。ICANN では、必要に応じて各生成パネルが助言を求めることができるように、ボランティアおよび有給のアドバイザーを確保する予定です。これらのアドバイザーには、DNS、IDNA、言語学、Unicode の専門家はもちろん、管理およびポリシー分野の専門家も含まれます。ICANN では、公開の[主題専門家についての呼びかけ](#)を発行しており、これに基づいて初期アドバイザー チームを選任されます。また、必要に応じて追加の呼びかけを行います。ICANN スタッフがアドバイザーとなることもできます。ICANN では、アドバイザーとして適格かつ利用可能な主題専門家のリストを作成しています。これらのアドバイザーのリストは、[プロジェクト Web サイト](#)で公開されています。

生成パネルのメンバーとは異なり、アドバイザーは、統合および生成パネルの両方と協力しますが、投票権はありません。生成パネルの送付策定に関してアドバイザーの意見に依拠した場合、送付の一部としてこの情報が文書化され公開されます。

2.3.1 アドバイザーへの依頼

生成パネルで特定のタスクについてアドバイザーが必要と判断された場合、議長（または議長の代理を務める書記）は、idnvarianttlds@icann.org に要求を送付することにより、ICANN に要求を送付します。この要求には、当該タスクの性質、必要とされる専門知識の種類、および必要作業量の推定などの詳細を含める必要があります。

要求された専門知識が利用可能な場合、ICANN では、直ちにその要求に応えるよう作業します。要求された専門知識が利用できない場合、ICANN では、パネルと協議の上、追加の専門家を通常 45 日以内に採用します。

生成パネルにおいて、利用可能性、適格性および専門知識の点で適切な専門家を把握している場合、その専門家を ICANN に推薦することができます。パネルは、ICANN による確認を受けることを条件として、独自のボランティア アドバイザーを採用することができます。ただし、ICANN では、これらのアドバイザーの給与または交通費などを支給することはありません。

生成パネルの開催する対面でのミーティングにアドバイザーの出席が必要な場合、個別の出張の要求および正当化を ICANN に送付し、承認を得る必要があります。生成パネルによって選任されたアドバイザーのリストは、[プロジェクト Web](#) サイトの生成パネルのページに、メンバーとともに表示されます。

2.4 作業計画

設立見込みのパネルが形成され、議論および業務の遂行を開始する準備が整ったら、最初の作業は作業計画の策定となるでしょう。手順では次のように説明されています。

「各生成パネルでは、1 つの表記法または関連する表記法群に関する Unicode のサブセットについての作業を行います。この作業は、単一の文字に制限される必要があるものの、問題となっている Unicode コード ポイントの文字プロパティに沿って幅広く調整されます (セクション B.5.3 を参照)。」

多くの文字は、複数の言語または表記法で使用されます。作業計画では、この文字によってカバーされる適切な表記法 (言語および正書法) はもちろん、設立見込みのパネルがそれらの文字および文字のユーザー コミュニティをどのように代表するかについて決定されます。当該文字のラベル生成ルールを作成するために、理想としては、全ての言語および表記法について問題点を調査する必要があります。これにより、後で互換性のない変更を加えなければならなくなるリスクが回避されます。したがって、作業計画では、これらの言語および表記法をカバーする方法、および問題点について調査する方法について対処する必要があります。作業計画では、当初の文字領域を絞り込むことになったり、その他の調整が推奨されることがあります。

作業計画では、主なマイルストーンを含む仮のスケジュールを決定するほか、予想される対面でのミーティングや電話会議のおおよその回数、開催場所およびタイミングなど、生成パネルでの作業のためのロジスティクスおよび資金調達の問題にも取り組む必要があります。

2.4.1 設立見込みの生成パネルの提案の一部としての作業計画

ICANN に送付される生成パネルの設立提案には、仮の作業計画が含まれます。また、この提案には、作業計画に加えて、設立見込みのパネルの構成例、各メンバーの専門知識に関する情報、利益相反または多様性要件に関する評価に適した情報など、関連するその他全ての情報を含める必要があります。特定の専門分野について助言を求める見込みがある場合、そのことも記載する必要があります。異体字問題プロジェクト <http://www.icann.org/en/resources/idn/variant-tlds/reports> でレポートが作成された文字については、関連する問題レポートで提起された問題点について作業計画で明示的に考慮することが有用です。

ICANN では、手順に定められた基準に照らして提案を評価し、統合パネルに助言と同意を求めます。設立見込みのパネルに関する提案は、電子メールで ldnvarianttlds@icann.org 宛てに送付する必要があります。提案は、承認され、パネルメンバーが選任された後、[プロジェクト Web サイト](#)で公開されます。生成パネルの設立提案の概要については、本文書のセクション 6 で説明します。評価の結果、提案が不十分であると判断された場合、修正して再送付することができます。

2.5 生成パネルのタスク

統合パネルによって構成および作業計画が承認された後、生成パネルでラベル生成ルールに関する作業を開始することができます。手順によると、生成パネルの作業の開始点は、統合パネルによって定義されたコードポイントの最大セット、およびデフォルト全ラベル異体字評価ルールのセットです。以下に示すタスクの概要は、あらましであり、規範として示すものではありません。詳細な仕様は、[手順](#)のセクション B.3「異体字ルール生成手順」で説明されています。

2.5.1 レポートリー

生成パネルでは、このコードポイントの最大セットのサブセットを作成し、当該文字のルートゾーン用ラベルとして適切なレポートリーを作成します。生成パネルは、包含の原則に従って、論理的に空のセットから開始し、必要と見なされるコードポイントを肯定的に追加する一方で、最大セットの範囲内にとどめる手順を使用します。使用または要件に関して不十分な情報が存在するコードポイントは、追加してはなりません。

LGR 提案の表明時に、生成パネルは、コードポイントについて (a) 考慮したもの、(b) 含めたもの、(c) 却下したもの、および (d) 考慮しなかったものの区別を明確に文書化する必要があります。

却下の基準が変更されない限り、却下したコードポイントをその後の改訂で考慮しないようにするため、却下したものと考慮しなかったものを区別することが重要です。この文脈において、特に包含および却下の両方について詳細な根拠を示すことが有用です。

さらに、さまざまな理由により、当初は考慮しなかったコードポイントにつながる可能性があるものの、依然として既存の提案に対する脅威とはならない場合があります。そのような場合、この情報を文書化する必要があります。

2.5.2 異体字

次に、生成パネルでは、手順における異体字の説明に基づいて、当該文字で異体字を使用する必要があるかどうか決定します。異体字が必要な場合、生成パネルでは、パネルによって定義されるレポートリー全体について、全ての異体字のリストを作成します。異体字は、コードポイントまたはシーケンスを異体字コードポイントまたはシーケンスにマッピングすることで定

義されます。これらのマッピングは、手順で説明されているとおり、対称的かつ推移的でなければなりません。1 対 1、1 対多、多対 1 および多対多のマッピングが可能です。

異体字のマッピングには、当該文字以外のコードポイントへのマッピングなど、生成パネルによって定義されたコードポイント以外へのマッピングが含まれます。しかし、その場合、そのような異体字の配置は「ブロック」にしなければなりません。

2.5.3 配置

各異体字について、生成パネルはその配置を決定する必要があります。これは、「ブロック」（この異体字を含む異体字ラベルは、元のラベル以外に割り当てることができません）、または「割り当て可能」（この異体字を含む異体字ラベルは、元のラベルと同じエンティティに割り当てることができます）のいずれかです。

2.5.4 全ラベル異体字評価ルール

最後に、生成パネルでは、当該文字に追加の全ラベル異体字評価ルール（WLE ルール）を使用する必要があるかどうか決定する必要があります。WLE ルールは、コードポイントではなく、隣接コードポイントのシーケンスに基づいてラベル（または異体字ラベル）をブロックします。作業のこの部分の開始点は、統合パネルによって作成されたデフォルトの WLE ルールのセットです。通常、文字の基本要素が Unicode コードポイントのシーケンスによって表される特定の複雑な文字を除けば、デフォルトの WLE ルールを超える WLE ルールは必要ありません。WLE ルールの目的は、表示または処理で問題を引き起こすラベルまたは異体字を除外することにあります。

ルートのラベルは言語的文脈を伝えるものではないため、ルートに関する追加的 WLE ルールを最小限に抑えることが重要です。これは、手順の予測性の原則から導かれます。

2.6 提案された LGR の送付

2.6.1 提案された LGR を送付する前に

手順では、最初の送付を行う前であっても、生成パネルと統合パネルの間で何らかの対話を行うことが推奨されています。この対話は、送付内容の一部について統合パネルが問題を予想した場合に、早い段階で生成パネルに警告を発する手段として非常に有用です。また、生成パネルが特定の決定を下した理由、および当該文字の IDN TLD ラベルおよび異体字についてその決定が正しい理由などを説明する機会が早期に与えられます。そのような早期の対話の一環として、予備ドラフトを配布することができます。ICANN では、そのような議論を促進するために、プロジェクト全体にわたる公開メーリングリストを提供しています。セクション 4.2「その他のサポート」を参照してください。

2.6.2 他の生成パネルとの協力

文字間の関連性が強い場合、またはユーザー コミュニティが重複している場合、生成パネルには、作業を促進するために他の適切な生成パネルとの協力を模索し、提案される LGR と他のパネルから提案される LGR との競合を避けることが推奨されます。設立見込みの生成パネルには、提案される作業文書において関連する文字を特定することが推奨されます。統合パネルには、作業文書の評価に当たって、そのような協力の必要性について指摘することが推奨されます。

統合パネルは、そのような協力を欠いた送付について、手順に定められた原則の下で、後に互換性またはユーザー体験の低下をもたらすリスクなど、ルートゾーンのセキュリティおよび安定性に対するリスクが存在すると正当な根拠に基づいて判断した場合、そのような送付を拒否することができます。

状況によっては、影響を受けるコミュニティからの支援を受けて、関連する複数の文字を取り扱う生成パネルを設立することができます。

2.6.3 文字における主要言語のカバレッジ

複数の言語で使用される文字について LGR を作成する場合、少なくとも関連する主要言語について、可能な限り多くの問題点を調査することが重要です。このような調査が行われない場合、それらの言語のユーザーが IDN TLD を申請または使用する場合に問題に直面するリスクがあります。そのような問題が原因となり、将来 LGR に互換性のない変更が加えられることになれば、プロセスにとって大きな破綻が生じます。手順で概説される基準の下では、そのような注意が払われていない文字の LGR が統合パネルの承認を得られる見込みはありません。

2.6.4 データ フォーマット

統合パネルは、生成パネルの作業結果を表すデータ フォーマットの最終仕様、および詳細な説明を[プロジェクト Web サイト](#)で提供されます。LGR データを表す [XML 仕様](#)のドラフトが評価のために提供されます。評価、クロス チェックおよび統合のためのツール スイートの使用を促進するため、生成パネルによる送付はこのフォーマットで行われることが期待されます。要求されるフォーマットのデータを作成したら、生成パネルでは、提案される LGR を統合パネルに送付すると同時に、提案される LGR をコメント募集のために送付します。提案される LGR には、重要な決定およびそれらの根拠を要約する説明レポートが添付されます。このレポートでは、相当な議論の対象となった分野、または少数者の意見が残っている分野を特に強調します。また、このレポートには、信頼性の高いデータを入手できなかった言語コミュニティに関する問題など、未解決の問題があるかどうかも明示する必要があります。レポートの作成方法に関する説明は、提供可能になり次第、[プロジェクト Web サイト](#)に掲示されます。ICANN では、コメント募集プロセスを管理し、評価プロセスで使用するために、その結果を統合パネルに提供します。

データ フォーマットの仕様は、このプロセスの要件を満たすかどうか確実に理解されるまで、最終決定することはできません。そのため、一部の生成パネルでは、予備バージョンのデータ フォーマットを使用する必要があります。その後、最終仕様でフォーマットの変更が必要となった場合、これらのパネルでは、送付を更新する必要があります。

2.6.5 決定

手順では、生成パネルが決定を下す方法について広い裁量を与えています。

「一般的ルールとして、生成パネルが統合パネルに送付する決定を下す方法は、その生成パネル独自の管理上の決定であり、本文書の範囲を超えています。しかし、生成パネルのメンバーが統合パネルに送付された推奨案に不満を持っている場合、他の全てのメンバーと同様に、生成パネルの結論に関するコメント募集期間中に自身の見解を表明する機会があることは、注記する価値があるでしょう。統合パネルは、評価においてそのようなコメントを考慮に入れるよう要求されているため、実際的な問題として、生成パネルでも、生成パネル メンバーからの強い異議および理にかなった異議を考慮に入れる必要があります。このことは、生成パネルで真の全員一致が必ずしも要求されないことを意味するものではありません。」

生成パネルの決定において、全員一致は明示的に要求されていませんが、可能な限り幅広いコンセンサスを目指す必要があります。提案にかろうじて過半数の支持が得られた場合、その事実は、統合パネルによる評価に悪影響を与える可能性があります。

2.6.6 送付およびフォローアップ

「生成パネルは、その作業が完了した場合、統合パネルに送付することができます。同時に、生成パネルの提案について、その時点で有効な ICANN コメント募集手順を使用して、コメントが募集されます。」

統合パネルへの提案の送付後、統合パネルでは、生成パネルに対して送付の受け取り確認を発行します。統合パネルでは、手順で確立された基準（詳細は手順のセクション B.4 を参照）に基づいて送付を評価し、提案された LGR のルートゾーンへの統合を承認するかどうかについて、全員一致で決定を下すことを求められます。統合パネルでは、特に関連する文字など、他の文字についての送付の文脈において評価する必要があるため、統合パネルによる評価が送付と同時には行わない場合があることに注意してください。

統合パネルによる評価のいずれかの段階において問題点が発見され、提案が要求される全員一致の指示を得られなくなることがあります。統合パネルには、その時点で提案についてそれ以上の分析を行うことは要求されず、提案が拒否されたことのみを宣言することができます。

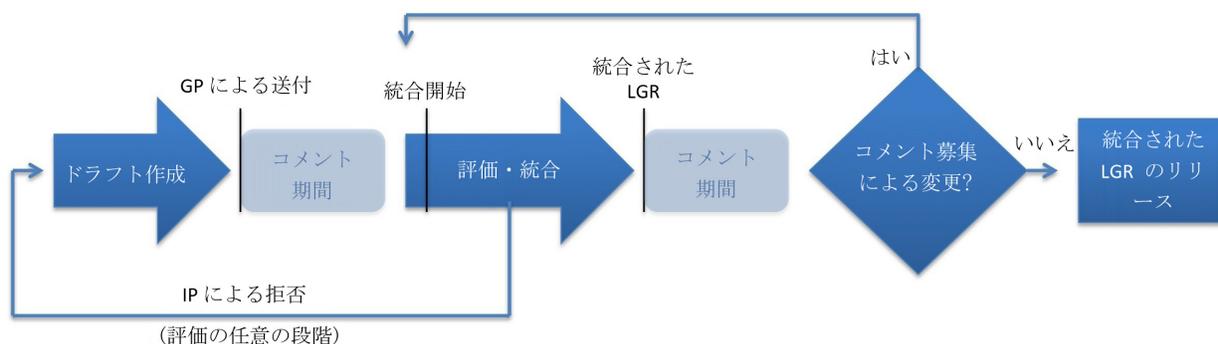
提案の拒否については、手順のセクション B.4 に定めるとおり、決定の正式な根拠が添付されます。また、改定された送付が統合パネルで承認されるようにするために、変更に関する非公式な提案が含まれることがあります。統合パネルの全ての決定およびそれらの根拠については、コメントが募集されます。生成パネルでは、これらの根拠およびコメント募集を評価し、作業の進め方、送付を変更するかどうか、文書および根拠を改善するかどうか、または、そのまま再送付するかについて、決定を下す必要があります。

評価が肯定的であり、コメント募集で追加の変更が必要とならなかった場合、生成パネルの送付は、ルートゾーンについて統合された LGR のリリースに統合されます。Unicode 標準に当該文字に新しい文字が追加されたり、またはその他の理由により、生成パネルの担当する文字領域に影響するルートゾーン LGR への変更が必要となり、生成パネルが再招集された場合を除き、生成パネルの作業はこの時点で完了となります。

詳細については、手順のセクション B.4.5 を参照してください。

2.7 ワークフローおよびタイムライン

下図では、生成パネルの提案送付から、ルートゾーンについて統合された LGR の最終リリースまでのワークフローを図解しています。図には 1 つの提案のみが表示されていますが、実際には複数の提案が並行して処理されるため、評価段階の一部は、全ての提案が出そろう前に実行されることに注意してください。また、評価プロセスの任意の段階で拒否の決定が下される可能性があることに注意してください。拒否された後に再送付された提案が LGR のオリジナルリリースに統合されるか、将来のリリースを待つ必要があるかは、タイミングに依存します。したがって、初回送付の前に潜在的な問題を発見するため、生成パネルと統合パネルの間で早期に議論を行うことが推奨されます。



3 パネル運営

各生成パネルは、それぞれのワークフローに責任を負います。生成パネルには、迅速でありながら、手順に定められた目標と原則を損なうことなく作業を進めることが期待されます。場合によっては、LGR の初期バージョンに含めるため、期限を厳守するようコミュニティから強いプレッシャーを受けることが予想されます。

3.1 タイムライン

初期の生成パネルの形成は、2013 年後半に時期的なばらつきをもって行われると考えられます。最初のルートゾーン LGR の仮の目標日は、2014 年の年央です。しかし、一部の生成パネルでは、最初の送付の作成にさらに時間がかかることが予想されます。これらのパネルの作業は、LGR のその後の改訂に反映されます。

手順の下で、統合パネルでは、ルートゾーン LGR の発行基準が満たされた任意の時点で、統合された LGR を発行することができます。このような基準の下では、密接に関連する文字が同時にカバーされない場合、統合パネルが LGR を発行する可能性は低いでしょう。

所定の文字をカバーする初期 LGR のリリース後、当該文字に関する生成パネルの作業は完了となります。しかし、将来 Unicode またはルートゾーン LGR に変更が生じ、当該文字の LGR の評価または改訂が必要となる場合があります。このような場合、必要に応じて生成パネルが再招集または再構成されます。

3.2 ミーティングおよびロジスティックス

生成パネルの作業では、対面のミーティングが必要となる場合があります。

各パネルでは、ミーティングの頻度や場所を含め、対面および電話ミーティングのスケジュールを独自に決定します。対面ミーティングの費用は、メンバーが確保しなければなりません。また、週に 1 回など、定期的に電話連絡を行い、ミーティングとミーティングの間にドラフト作業を進めることができます。各パネルには、通信ロジスティックスを確保することが期待されます。

3.3 レポート

生成パネルには、進行中の作業について四半期ごとに公開レポートを発行するとともに、統合パネルへの送付についてコメント募集を行うことが期待されます。公開するレポートおよび送付は、ldnvarianttlds@icann.org 宛に送信する必要があります。ICANN によって管理され、定期的に更新される[プロジェクト Web サイト](#)は、これらのレポートが集約される公開の場として機能します。ICANN では、コメント募集プロセスも管理し、生成パネルおよび統合パネルの両方が結果にアクセスできるようにします。

生成パネルでは、最新のメンバー リストを管理し、変更の希望があれば、更新情報を idnvarianttlds@icann.org 宛に送信することにより、ICANN に報告します。追加がある場合、メンバーシップ設立ガイドラインが適用されます。また、生成パネルでは、公開、または ICANN および統合パネルとの連絡に使用する連絡先アドレスを[プロジェクト Web サイト](#)上で管理します。このサイトは、生成パネルの議長または任命された代表者によって電子メール送信された情報および更新に基づいて、ICANN スタッフによって管理されます。

3.4 書記の職務

レポートまたは送付の発行に正式な責任を負うのは生成パネルの議長ですが、この作業は、生成パネルの書記として活動する別のメンバーに委任することができます。この場合、書記として活動するメンバーを指名し、連絡先にも記載しなければなりません。

4 ツールおよびその他のサポート

4.1 ツール

ICANN では、LGR 送付フォーマットのデータを、既存の IDN 表フォーマットに似たフォーマットとの間で変換するツール セットを開発しています。完成したツールおよび対応するチュートリアルは、[プロジェクト Web サイト](#)で提供されます。

4.2 その他のサポート

ICANN では、[プロジェクト Web サイト](#)をホスティングし、統合パネルおよび形成された各生成パネル専用のセクションを設けています。

ICANN では、プロジェクトをサポートするために以下のメーリング リストを提供しています。

- idnvarianttlds@icann.org: プロジェクトに関連する一般的な事項について ICANN スタッフと連絡を取ったり、生成パネルの自己紹介、作業レポート、更新などを送付するための電子メール アドレスです
- LGR@icann.org: LGR 作業および LGR 提案の送付に関連する事項について、統合パネル、アドバイザーおよび生成パネル間のコミュニケーションを促進するためのメーリング リストです。統合パネルのメンバーおよび適切な ICANN スタッフは、このメーリング リストを自動的に購読し、このアドレス宛の投稿を受信します。生成パネルのメンバーは、パネルのメンバーが確定すると、このメーリング リストを自動的に購読します。メーリング リスト通信の公開アーカイブは、<http://mm.icann.org/pipermail/lgr/> で利用することができます。
- vip@icann.org: IDN 異体字 TLD および LGR に関連する問題について議論するための公開メーリング リスト。このメーリング リストを購読するには、<https://mm.icann.org>

mailman/listinfo/vip で必要事項を入力してください。メーリング リスト通信の公開アーカイブは、<http://mm.icann.org/pipermail/vip/> で利用することができます。

- 要求があれば、ICANN では、生成パネルのメンバー間での議論に使用する公開メーリング リストをホスティングします。メーリング リストのアドレスおよび公開アーカイブは、生成パネルの専用ページで提供されます。

5 生成パネルの設立提案の概要

以下では、生成パネルの設立提案でカバーする推奨トピックについて概説します。

1. 一般情報

- a. パネルを設立する目的となる文字：ISO 15924 文字コード(<http://www.unicode.org/isol5924/isol5924-codes.html> から入手できます)、および文字の英語名およびネイティブ名を記載します。複数の文字についてパネルを提案する場合、文字ごとに見出しを立て、全ての文字について情報を記載する必要があります。
 - i. 当該文字を使用する主要言語：言語コードおよび言語名（ISO 639-3 準拠）を記載します。
 - ii. 当該文字の主要なユーザー コミュニティが存在する地理的領域または国。関連する文字は存在するか？ 存在する場合、どの文字か？
 - iii. このセクションには、別のパネルで取り扱われる文字であっても、構造上または歴史的関連のある文字が含まれます。

2. 提案されるパネルの初期構成

- a. 議長およびメンバー候補のリスト
- b. 関連するメンバーの専門知識および経験についての詳しい説明
- c. 代表する組織についての詳しい説明
- d. 設立見込みのパネルの多様性についての詳しい説明：主要言語および主要コミュニティがどのように代表されるか？
- e. パネルが既存のワーキング グループに基づいているか？ 詳しく説明してください。

3. 作業計画

- a. 提案されるタイムライン、重要なマイルストーンのリスト：パネルの作業開始可能な時期は？ 統合パネルへの送付までどの程度時間がかかるか？
- b. 提案されるミーティングおよび電話会議のスケジュール。
- c. メーリング リストなど、ロジスティックス サポートが必要となる見込みですか？
- d. パネルでは、ICANN の選任したアドバイザーに助言を求める予定ですか？ わかっている場合、意見を求める外部アドバイザーの専門知識の種類をリストアップします。

4. その他の情報: ICANN による提案の評価に役立つ可能性のある追加情報を提供します。ICANN では、提案の評価中にさらに情報を要求する場合があります。